

対象施設	認定こども園さくら保育園
実施日時	令和5年11月22日(水) 10時00分～ 12時15分
実施者	重尾 知美 大西 沙季

令和5年度第1回 認定こども園さくら保育園運営状況確認会議(8月24日開催)において、指摘があった以下の事項について、保育内容や園運営の観点から現状確認するため、保育教諭による園訪問を実施した。

- 次期園長職の人材育成確保について
- 理事長と園長兼務解消にむけた方策について
- 風通しのよい職場環境作りについて
- 園児への性教育の実施について

## 1. 保育見学

### 2歳児

温かい雰囲気では絵本の読み聞かせを行っていた。児童の発言に回答しながら読み聞かせを続け、その後の制作活動への意欲が高まるよう配慮していた。ハサミを使う際は、危険のないよう二人ずつ制作コーナーに呼び、ハサミの持ち方や切り方等丁寧に指導していた。

### 3歳児

給食の時間を見学。隣に座っている友だちと談笑しながら食べており、食事の時間を楽しんでいた。担任は「野菜も食べや」「フォークで食べるほうがいいで」等、食事についてのアドバイスを細やかにしている。鶏肉のソテーにかぶりつくものの、噛み切れないため最終的に一口に押し込んで食べる児童が複数いたので、カットする大きさの検討が必要と感じた。

### 4歳児

合奏の練習とじゃんけん列車、運筆の時間を見学。合奏は様々な楽器に触れながらリズム感を養えるようにしていた。楽器の片付けを児童で行っており、発達段階に応じてできることを増やすように意識した活動を取り入れている。じゃんけん列車の後、運筆をする等、静と動の活動のメリハリをつけて保育活動を構成している。

### 全体的な園内の様子

概ね清潔に園内が整備されており、児童が作った制作物が随所に展示され、季節感を感じられる空間になっている。また、延長保育を行う保育室にも発達段階に応じた玩具が用意されており、児童が長時間過ごしやすい環境作りに努めていると感じた。午前中は園外に散歩に行ったり、園庭で十分遊んだり、各学年とも体を充分動かす活動を確保し、体作りに重点をおいている。

## 2. 園からの聞き取り

### 次期園長職の人材育成確保について

佐邊園長：しっかりとした理念と実践力を兼ね備えた人物が園長にふさわしいと考えており、自分は保育経験がないが園長の資質という点では適任であると思う。園内の人材育成は一朝一夕には進まない。

### 理事長と園長兼務解消にむけた方策について

佐邊園長：理事長就任については、適任と考えている人をお願いはしているが、裁判が終わっていない状況では引き受けてもらえない。引き続き理事長になってくれる人を探す予定である。

### 風通しの良い職場作り・職員間の連携について

鳥飼主幹：職員会議で意志疎通をしっかりとすることに加えて、伝達ノートで情報の共有漏れがないようにしている。全ての職員から意見を聞き、園運営に反映している。

### 性教育について

鳥飼主幹：今年度から5歳児対象にCAPプログラムを受ける予定。また、日ごろの保育の中でも自分がされていやなことがあれば、声をあげて伝えることの大切さを伝えている。

### 保育内容について

佐邊園長：やってみたいと心が動く保育内容を提供したり、かかわりを求める児童には1対1で向き合ったりしたいが、人材不足のため満足できるほどは達成できていない。

「なぜこうしたほうがいいのか」と納得して行動できる人間に育てたい。先生に怒られるのがいやだから言うことを聞くという行動パターンになってほしくない。

学ぶことが楽しいと感じられるように、好奇心を育むことを大切にしていきたい。

鳥飼主幹：体作りの基礎は歩くことと考え、今年度から散歩に出かけることを増やした。

佐邊園長：歩いたり、運動遊具で遊んだりする中で体幹が鍛えられ、小学校の授業時間の45分、着席して集中して学ぶことに適応できるはずだ。また、体操指導の先生から、「さくら保育園の子どもは新しいことにも怖がらずチャレンジする」と褒めていただいた。

### 保護者対応について

佐邊園長：今年度、数件保護者からの苦情が寄せられたが、なぜそのような対応をしているか、ポリシーを丁寧に説明することで保護者は納得し、逆に感謝されている。

### 研修について

鳥飼主幹：これまでは主幹がキャリアアップ研修を受けていたが、今年度はその他の職員も受講している。

### 園運営における課題について

佐邊園長：比較的遠方から通勤している職員が多く、家庭との両立が難しいという理由で今年度末をもって3名退職予定。次年度の保育士確保が進まず、人材不足が慢性的な課題である。

鳥飼主幹：1歳児に配慮が必要な児童が多く、担任だけでは対応が難しい。特に多動傾向

がある児童については、1対1の対応が必要な場面が多いが、じっくり付き合  
ってあげる職員を配置できない。ここでも人材不足が課題である。

### **3. 感想**

保育は、保育サポート児その他支援が必要な児童を含めて、温かい仲間作りをしている  
と感じた。外国籍の児童への個別対応もしっかりとされている。戸外遊びの時間を充分確  
保しており、いきいきと遊ぶ児童の姿が見られた。

園運営については、園長と理事長の兼務や人材不足という事態は解消されていないが、  
その他については聞き取りの中では大きな課題は見当たらなかった。引き続き児童の最大  
の利益を保証し質の高い就学前教育保育を提供できるよう、職員の同僚性を深めながら取  
り組んでいただきたい。